

高知木の家ネットワーク組織図

～ はじめは小さなグループから、地道に土台を築き活動を広げていく ～

ネットワークはこんなことをしています。①～⑤

①高知の木の家づくり事業

■特色

- WG方式の安心・安全な家づくり(施主を中心にして地元の木材、設計、インテリア、施工などが一緒になって家づくりをお手伝いします)

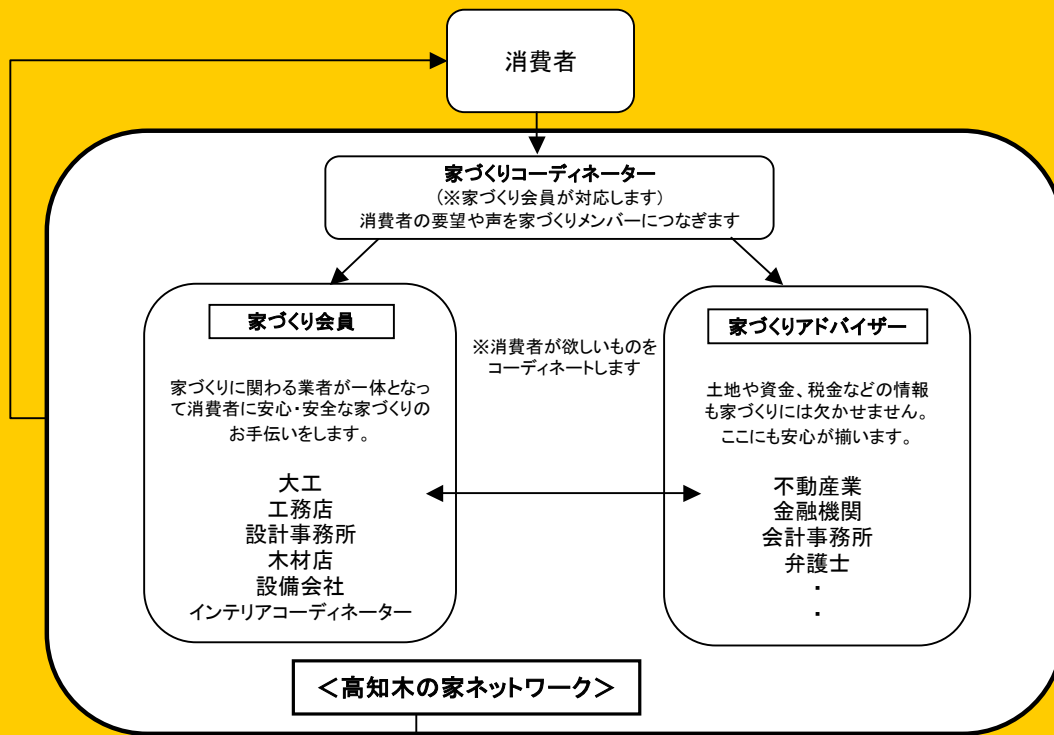
住まいは建てる人のライフスタイルで大きく変わってきます。
WGでは、ネットワークの機能を最大限に生かして、小さな仕事から大きな仕事まで、
新築やリフォームにとらわれない家づくりをしていきます。

- 生活スタイルを実際に見せるなどモデルハウス等も視野に入れ検討中

■活動拠点

「木と人・出会い館」他

①高知の木の家づくり事業



②会員交流事業 (仮称: 木の家サロン)

木の家づくりに必要な技術・情報を共有し、互いの足りない部分を補完、スキルアップできる関係を築きます。

- ・ 定例会 (情報交換の場)
- ・ 勉強会 (スキルアップの場)
- ・ 懇親会 (交流を深める場)

(担当: 山村一正)

消費者向け ③イベント事業

消費者が欲しい情報をキャッチし企画。県産材を使用した住宅の需要の掘り起こしを行い、建築の推進につなげていきます。

- ・ 勉強会 (耐震、シロアリ、家のメンテナンス、テーブルコーディネート等)
- ・ 見学会 (住宅、産地、製材工場等)
- ・ 各種イベントへの出展、参加

(担当: 浜田宏)

④匠を育てる事業

住宅仕様の変化や大工等の高齢化が進む中、木の家づくりに欠かせない伝統技術の継承、後継者の育成に努めます。

- ・ 大工の学校

(担当: 白玉圭志)

⑤連携事業

志を同じくする組織、団体との連携を深めていきます。

- ・ 高知もくもくランド企画・運営への協力 (木材普及推進協会)
- ・ 街づくり(コミュニティ)事業への協力